

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

日本が抱える 2020 年二酸化炭素削減問題

提言：低炭素時代に向けての私の考え

※きかわだひとし後援会 入会のご案内など

きかわだステーション



第 25 号

きかわだひとし FBはこちら！友達募集中！↑↑↑
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

地域の皆様と共に！

自立と誇りある
日本をつくります

日本が抱える 2020 年二酸化炭素削減問題

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

2020 年と言えば、先般、東京オリンピックの開催が決定いたしました。私自身、23 号でお伝えしました通り、議員外交という形で、アフリカのブルンジ共和国に行き、非公式に、東京オリンピック誘致をアピールしてきたので、決定した際には、とても嬉しかったです。

しかし、この 2020 年という年は、喜んでばかりもいられない大きな課題があることをご存知でしょうか。

それは、二酸化炭素削減に係る問題です。

地球の温暖化対策を国際的に協議する国連気候変動枠組み条約第 19 回締約国会議（COP19）が、11 月 11 日から、ポーランドの首都、ワルシャワで開幕します。恐らく、日本は、この会議の場で、厳しい局面に立たされることになるでしょう。

なぜなら、日本は、民主党政権による不可能な目標値設定と原発事故により、「国際約束を履行できない」と、会議で言わなければならないからです。新しい目標を示すにも、鳩山政権が大々的に掲げた値から、大きく下方修正しなければなりません。このことは、国際社会に受け入れられるか、現時点ではわからず、また、例え受け入れられたとしても、日本の信用を落としてしまうのではないかと危惧されています。

ここで少しおさらいをしたいと思います。2009 年、当時の鳩山由紀夫首相は、2020 年までに、1990 年対比で、二酸化炭素の排出量の 25%削減を、国連の場で表明しました。日本の報道では、比較的好意的に取り上げられていましたが、各国の反応は、「そんなことができるのか？」という疑心に満ちたものでした。この 25%削減目標の裏付けとして、民主党政権は、日本の電力需要の 50%を原子力による発電にすることを掲げていました。

しかし、皆様ご承知のとおり、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、福島第一原発で事故が起き、日本の原発は、一時、全てが停止してしまいました。そのような状況にも関わらず、民主党は、「90 年比 25%削減」を変えることはありませんでした。

さて、自・公政権となった今、日本国内の原発は、全て停止しています。自民党は責任政党として、二酸化炭素削減に関する現実的な政策目標を提示しなければなりません。先月の情報によると、安倍政権は、2020 年までの二酸化炭素削減目標を、2005 年対比で、6~7%で調整するという事です。

日本は、国際的に見て、非常に優れた二酸化炭素削減技術を持っています。将来的な世界規模の気候変動対策において、リーダーシップを発揮すべきです。「環境と経済」、「現在と未来」、「国内と国外」など、各々のバランスを取りながら、上手に舵を取ることが求められています。私も、衆議院議員として、この大きな課題に、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

平成 25 年 11 月 吉日 自由民主党衆議院議員

黄川田仁志

提言：低炭素時代に向けての私の考え～住宅を起点に考える～

もったいない精神を住宅政策にも生かしていこう！

日本の高度な二酸化炭素削減技術の根幹にあるのは、国際的にも非常に尊敬されている「もったいない精神」であると私は考えます。日本の車や家電製品は、品質が良く長持ちである上に、最先端の二酸化炭素削減技術が用いられています。とても素晴らしいことです。様々な分野において、二酸化炭素削減技術のトップを走る日本ですが、さらに、追求できる分野があります。それが、「住宅」です。

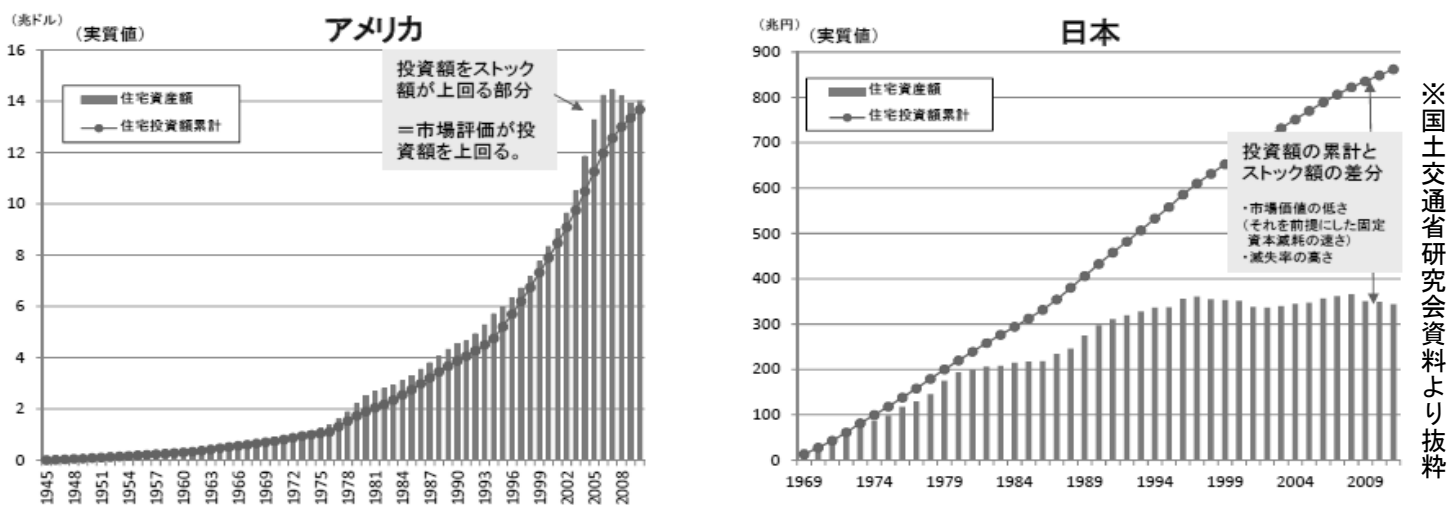
日本の住宅は、世界的に見れば使い捨てです。**日本の建替えの平均年数は27年。アメリカは66.6年。イギリスは80.6年です。**日本の家の多くは一代限りで、もったいないと感じています。二酸化炭素削減への貢献も考えると、環境に優しい木造住宅で、長期間、住み続けられる住宅を増やしていくべきではないでしょうか。

しかし、家を長持ちさせるということは、今まで日本がとってきた、新築住宅をたくさん建てて経済をけん引するという仕組みを改めなければなりません。住宅関連産業のみならず、経済界に大きな影響の出る大改革です。

下のグラフをご覧ください。日本の建物は、構造物の価値は新築時が一番高く、築年数に比例して減価します。しかし、アメリカでは、築年数よりも「実際の使用に堪えるか？」が最も重視されます。よって、数十年から100年以上前の物件でも、修繕を重ね投資することで、市場評価額が投資額を上回ることがあります。このような仕組みを日本でも導入すれば、住宅の使い捨てを減らすことができるのです。

日本でこの仕組みを導入するためには、**中古住宅の建物評価を実際の使用を重視した方式**に変えることや、**長期間に渡り住むことができる住宅の建築技術、リフォーム技術の向上**が必要となります。

グラフ：住宅ストックの資産評価【日米の住宅投資額累計と住宅資産額】



～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとし後援会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。**入会金・年会費は不要**です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



一緒に「自立」と「誇り」ある日本を創ろう！ **きかわだひとし後援会**

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2-8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集！

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大にご協力を！

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。東京理科大卒、米州ランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。現在、外務、法務、震災復興特別各委員会所属。自民党青年局長次。